

ナビゲーションスポーツ・キャンプ in 朝霧

2018 朝霧マウンテンオリエンテーリング プログラム

1. 開催日 2018年9月8日(土)、9日(日) 雨天決行、荒天中止
2. 主催 静岡県立朝霧野外活動センター(指定管理者 日本キャンプ協会グループ)
3. 協力
TEAM 阿闍梨、オリエンテーリングクラブサン・スーシ、NPO 法人 M-nop、富士宮市、上井出財産区、猪之頭区財産区、白糸財産区、富士丘区、人穴区、猪之頭区、内野区、佐折区、富士開拓農業協同組合、富士宮市振興公社、(株)前川、まかいの牧場、ATC-STORE、ジーエイチ・ホスピタリティフードサービス中部(株)
4. 会場 静岡県立朝霧野外活動センター
〒418-0101 静岡県富士宮市根原1番地 TEL 0544-52-0321
<http://asagiri.camping.or.jp/profile.html>
5. 挨拶 静岡県立野外活動センター 所長 太田恒義
朝霧野外活動センター主催事業「朝霧マウンテンオリエンテーリング」によろこそ！
昨年度から始まり、今回2回目の開催となる本事業は、オリエンテーリングとキャンプを組み合わせるもので、必要な装備・食料など全てをバックパックに背負って競技する OMM (Original Mountain Marathon) の入門編ととらえることもできます。
また同時に、ナビゲーションスポーツ初心者の家族を対象とする「はじめてのナビゲーションスポーツ！～地図とコンパスで自然と遊ぼう～」を同時開催することで、ナビゲーションスポーツの普及を図り、朝霧ナビゲーションパーク構想実現に近づけたらと考えています。
さあ、初秋の朝霧高原を思う存分に楽しんでください。
最後になりますが、事業実施にご理解・ご協力をいただいた多くの OL 関係の方々や地元の関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

6. タイムスケジュール

9/7(金)		前日宿泊(詳細は別途宿泊者へ連絡)
9/8(土)	6:30~7:30	前日宿泊者向けに朝食提供
	7:00~8:30	受付
	9:00~10:00	スタート
	17:00	フィニッシュ閉鎖
	テント泊	シャワー利用可能
9/9(日)	7:30~8:30	スタート
	14:40	フィニッシュ閉鎖
	14:30~15:00	表彰式
	13:00~15:00	昼食(本館食堂で提供・事前注文制)

同日でナビゲーションスポーツ初心者のファミリーに向けた「はじめてのナビゲーションスポーツ」というイベントを実施します。初心者ファミリーの皆さんに、競技者である皆さんの姿をお見せすることをとおしてナビゲーションスポーツの楽しさやすばらしさを伝え、裾野を広げるまたとない機会です。お互いを尊重しあい、皆がイベントを楽しむことが出来るよう、ご協力ください。

7. 会場への交通(最終ページの地図もご参照ください)



東名高速富士ICから西富士道路・国道139号を北上、約28km、40分。

新東名新富士ICからは同約26km、40分。

8. 競技について

(1) ルール

- 1チーム2人のポイントオリエンテーリング形式です。クラスはロングクラスとショートクラスの2つからなります。競技時間は1日目7時間、2日目6時間です。競技時間を越えると失格となります。
- スタート(△)からフィニッシュ(◎)まで地図に書かれたコントロール(○)を1から順番にチェックし、タイムが速いチームから順位をつけます。コントロールは○の中心に置かれており、どのような場所にあるかは地図横にある位置説明表に記載されています。位置説明表にはそれぞれのコントロール撤収時刻とコントロール識別番号が記載されています。
- 間違って1つ先のコントロールに行ってしまった場合は、戻ってチェックし再び次のコントロールをチェックして進みます。スキップして先に進むことはできません。
(例) 3-4-5、と行くべく所を 3-5 と行ってしまった場合、戻って4に行き、再び5に行ってください。
- コントロール撤収時刻になり次第、コントロールの撤収を始めます。競技時間内に極力フィニッシュへ戻るようにしてください。フィニッシュ閉鎖時刻に間に合いそうにない時は、係員が次に向かうポイントを変更指示することがあります。その場合は速やかに従い、フィニッシュに向かうかショートカットして回るようにしてください。
- フィニッシュでは置かれてあるコントロールにパンチングチェックしてください。それをもって競技終了です。
- 電子コンパス、高度計の使用は不可です。
- GPSはログをとるための使用は可能です。
- 携帯電話は緊急時以外、競技中の使用は不可とします。ただしキャンプエリアでは使用可能です。
- チームは必ずいつも一緒に行動してください。離れて1人だけコントロールに向かい、1人だけ待つことは不可です。お互いの安全を維持するためにも、必ず離れずに行動してください。お互いの声が届かないほど離れて行動した場合は失格とします。
- 参加者はキャンプ一式及び装備等を競技中いつでも常備して移動しなくてはなりません(デポ禁止)。
- SIカードは、2日目のレースが終了するまで装着しなくてはなりません。1日目スタート前の受付時に係員によって腕に装着し、2日目フィニッシュしてから外します。SIカードのベルトを故意に外した場合は失格となります。

- 必携装備が不備の場合は失格となります。装備チェックは随時行います。係員から提示を求められた場合は速やかに従ってください。
- イベントの趣旨からレース中の飲料購入は不可としたいのですが、フィールドの高気温が予想されるため、参加者の安全を考え、自動販売機の利用は可とします。ただし売店等での食料の購入は不可です。
- ゴミは途中で捨てることなく競技終了まで持つようにしてください。キャンプエリアで出たゴミも競技終了まで持つようにしてください。捨てた場合は失格となります。なお、センター内にあるゴミ箱は使用不可です。
- 指定されたキャンプエリアより外には出ないでください。また指定の水場、トイレ、シャワーを使用するようにしてください。それ以外の使用は不可とします。使用が発覚した場合は失格とします。会場レイアウト図で確認してください。
- キャンプエリアでは 21 時以降、騒音となるような大きな声や音をたてないでください。守れないチームは失格となります。
- 地図上で示された立入禁止区域や明らかにわかる耕作地、民家の敷地に侵入した場合は失格となります。

(2) 使用地図

縮尺:1:25,000 等高線間隔 10m 国土地理院電子地形図 1:25,000 に情報を追加修正 サイズ A3、B4 チャック付きポリ袋付き

(3) コースプロフィール

日程	クラス	競技時間	距離(直線)
1 日目	ロング	7 時間	18.7 km
	ショート	7 時間	13.1 km
2 日目	ロング	6 時間	12.0 km
	ショート	6 時間	8.9 km

(4) 競技エリア概要

東は富士山西麓側の標高 1100m 付近から西は天子山塊 950m 前衛の山まで、北は会場付近から南は田貫湖周辺までの範囲です。東部分には富士山麓の財産区などからなる広大な森が広がります。富士山麓と天子山塊に挟まれたエリアには牧場や集落が広がっています。これらのエリアをつなぐのは道路で体力的要求は高くなりますが、1 本道ではないため確実なナビゲーションが必要です。

森の中は溶岩が作り出した大きな沢(谷・川)や細かな微地形が存在しています。これらのエリアでは、地形読みも含んだナビゲーションスキルを要求するポイントが設定されています。

地図には表記されていない道がいくつも存在しています。

また本来は道として利用されていましたが、現在は藪などでたどることが難しいため、元作業道として地図上に表記している箇所があります(地図記号は当日配布された地図で確認してください)。

全体的に制約されたエリアとなっていますが、チャレンジングなナビゲーションを楽しめるでしょう。

季節柄植生が悪く、藪が多く見受けられます。肌を守るための衣服着用を強く推奨します。

立ち枯れている木や、不安定な倒木が随所にあります。どちらも大変危険なので、絶対に触らないでください。

また、エリア内は熊、鹿、ウサギ、蛇、ダニ、そしてハチなどが生息しています。特にハチについては刺

される可能性があります。ハチのよけ方及び刺された時の処置について、事前に理解しておき、各自で対応してください。

(5) 装備について

- 競技中の服装・装備については以下の必携装備を定めます。必携以外の装備については、気候と天候を考慮の上、自然の中での行動にふさわしいものを用意してください。
- 受付時に必携装備の確認は行いません。しかし必須装備を用意することは安全を確保する上で重要です。そのためスタート時やキャンプエリア、フィニッシュ時などに、ランダムに装備チェックを行います。これはすべてのチームに可能性があります。チェック時に必要な装備が不足していることが判明した場合は失格となります。

【チームの必携装備】

熊鈴、1日目夕及び2日目朝の食料、料理できるクッカー、燃料、テント

【個人必携装備】

行動食・飲料、コンパス、携帯電話(十分充電し、2日間の競技時間使えるもの)、ファーストエイドキット、ライト(12時間以上連続で使用できるもの)、雨具、寝袋、健康保険証(コピー可)

※テントの種類、数は問いません

※トゲのある草や藪が多く、またダニがいるため、長そで長ズボンの着用を推奨します。

(6) コース設定者

田島利佳(TEAM 阿闍梨)、宮内佐季子

9. 当日の流れ

(1)会場

- 男女共用更衣室としてスケート場(体育館棟1階)、女性専用更衣室としてネイチャールーム(体育館棟2階)を用意しています。
 - レースに不要な荷物は各自の自家用車又は更衣室に保管してください。
- ※1日目レーススタート後から2日目の全員スタート完了まで、更衣室を含む本館棟及び体育館棟建物内には立ち入ることができませんのでご注意ください。
- ※紛失等の責任は負いません。貴重品等は各自の責任において管理してください。

(2)受付

受付はセンター1階エントランスホールで行います。チーム票・必携装備リストを提出してください。計測用のSIカードの装着と参加賞の缶バッジをお渡しします。

(3)初心者説明

- オリエンテーリングのルール・やり方などを説明する初心者説明を随時行います。スタッフにお声がけください。
- 受付横にコントロールフラッグとユニットの見本を置きます。パンチのやり方を確認しておきましょう。

(4)スタート

- 会場から誘導に沿って進んでください。1日目、2日目とも徒歩約10分です。
- スタートエリアではクラスごとに分かれた枠があります。指定されたスタート時刻の3分前になったら枠に入り、1分ごとに前の枠に進んでください。スタート1分前になったら自分の地図をとってください。とった地図は見るができます。スタート時刻となったらSIカードをユニットに必ずパンチしてからスタートします。パンチ

した時刻がスタート時刻としてSIカードに記録されます。スタート時刻に遅刻したチームは他チームとのタイミングをはかってスタートできますが、所要時間は事前指定時刻からとなります。

- 係員は特に時刻の確認、チームの呼び出しはしません。各自時刻を確認して、スタート枠に入るようにしてください。
- スタートしたら、誘導テープに沿って進んでください。しばらく進むとフラッグがあり、それが地図上の△(スタート)となります。途中誘導テープから離れて他エリアに行かないようにしてください。
- トイレは地図に記載された場所で極力済ますようにしてください。
- 自動販売機の利用は可能です。ただし売店の利用は不可です。
- 地図上にはわかる範囲で給水できる場所を記しています。他公園等で給水をすることは可能です。

(5)コントロール撤収時刻

- 各コントロールにはコントロール撤収時刻が設定されています。地図横にあるコントロール位置説明とともに記載されていますので確認してください。
- コントロールは、コントロール撤収時刻になるとすぐに撤収されていきます。その時刻を過ぎてしまったチームは失格となりますので、速やかにフィニッシュに向かうか、次のコントロールに向かわずショートカットしてフィニッシュ閉鎖の時刻までに戻るようしてください。
- 途中、コントロール撤収・フィニッシュ閉鎖時刻が近づいている場合は係員がショートカットすることや、フィニッシュへ向かうことを促す場合があります。指示に従ってください。

(6)緊急の事態が起こったとき

- 何かしらのトラブル等が発生した場合は、地図上に記された緊急連絡先へ連絡してください。
- 救急等の重大な緊急事態が発生した場合は、まず 119/110 へ連絡をお願いします。その後緊急連絡先へ連絡してください。

(7)フィニッシュ

- 最終コントロールからテープ誘導はありません。フィニッシュエリアには計測用のフィニッシュユニットが設置されていますので、それにパンチしてください。そこで競技終了になり、競技時間の計測が終わります。
- フィニッシュ後記録の読み取りを行いますので、そのまま帰ることはせず、必ず計測デスクまで来るようにしてください。読み取りをしない場合は、未帰還者として搜索の対象になります。
- フィニッシュ閉鎖時刻から 30 分経ってもフィニッシュに到着できそうにない場合は、積極的に緊急連絡先に連絡するようにしてください。

(8)リザルト

各日と総合の速報を掲示します。後日ウェブサイトにて各レグタイムなどの詳細リザルトを掲載します。

(9)キャンプエリア

- フィニッシュ後、指示されたエリアでテントを張ってください。指定されたエリア以外への立ち入りは禁止です。
- 指定の使用エリア
水場： 食堂前、自転車庫前
トイレ： 宝山トイレ
シャワー： キャンプセンター

※シャワーを浴びる際はダニがついていないかよく確認してください。

※その他、キャンプエリアの利用に関する事は「11. 施設の利用について」の項目も確認してください。

(10)表彰・成績等

2日間のレース終了後に、各クラス別に2日間の総合成績の上位3チームを表彰します。賞状と賞品等を贈呈します。

10. 注意事項

マウンテンオリエンテーリングは他人の土地も含んだ場所で行われるアウトドアスポーツです。地域の方々のご理解とご協力により開催することができます。今後も地元から気持ちよく受け入れてもらえるため、以下の注意点をお守りください。注意事項が守られないことが確認された場合、失格となります。

(1) 地域・自然への配慮

- 競技中にゴミを捨てないでください。
- 動植物や岩石その他の採集を禁じます。

(2) 他者への配慮

- 地図上で示された立入禁止区域へは絶対侵入しないでください。また**地図上に立入禁止表示がない場合でも牧草地(草原)・田畑・工場・民家への立入は厳禁です**。森との境界がルートになることもありますが、必ず森の中を通行してください。
- 民家の周辺では熊鈴の音を消すようお願いします。
- 一般の方へ迷惑をかけないようにしてください。地元の人やハイカーに会ったら挨拶をしましょう。クレームがあった場合、緊急連絡先へ電話連絡をお願いします。
- 競技中、救助を必要とするチームを発見した場合、その救助を優先させてください。

(3) 安全への配慮

- 交通には十分注意し、交通法規を守りましょう。道路は基本的に右側通行です。歩道がある場所は歩道上を通行してください。
- 国道139号線は指定された箇所を横断してください。また通行禁止の区間もあります。
- 急な斜面では、上の人が落とした石が下の人に当たることがあります。そのため、急斜面の中では次のことを守ってください。
 - ◆ 落石の音に気づけるよう、音を気にしておく。
 - ◆ 上下に人がいないかどうか常に確認する。
 - ◆ 石を落とさないよう気をつける。
 - ◆ 石を落としたら「らく！」と叫ぶ。
- 自己の体調には十分留意し、決して無理をしないでください。

11. 施設の利用について

朝霧野外活動センターは社会教育施設で、普段は子どもたちが自然教室等で使用する場所です。節度ある利用をお願いいたします。

(1) 喫煙について

キャンプエリアを含む敷地内は全面禁煙です。電子タバコを含み、屋外の指定場所以外での喫煙は厳禁です。

(2) 清掃等について

- ゴミは全てお持ち帰りください。
- 9日のレース開始までに使用した場所の片づけ及びゴミ拾いをお願いします。

(3) 着替え・荷物について

- 男女共用更衣室としてスケート場(体育館棟1階)、女性専用更衣室としてネイチャールーム(体育館棟2階)を用意しています。
- レースに不要な荷物は各自の自家用車又は更衣室に保管してください。

※1日目のレーススタート後から2日目の全員スタート完了まで入室できませんのでご注意ください。

※紛失等の責任は負いませんので、貴重品等は各自で管理してください。

(4) 9/7(金)前泊の宿泊室について

- 男女別の相部屋となります。家族の方は同じ部屋です。
- 宿泊室の清掃、片付けは各自行ってください。
- 9/8 朝 8:30 までに宿泊室から荷物を移動してください。
- 宿泊室での飲食・喫煙はできません。
- 宿泊室出入り口の鍵の貸し出しは行いません。貴重品は各自で管理してください。
- 安全管理上、夜 22 時から明朝6時までは全館の出入り口を施錠します。
- 詳細は「朝霧マウンテンオリエンテーリング前泊のご案内」でご確認ください。

(5) キャンプエリアにおける火気の使用について

たき火及び直火は施設の安全管理上、禁止します。

(6) キャンプエリアにおける飲食について

- 朝霧野外活動センターは公立の社会教育施設です。本来はアルコールの持ち込みは禁止されていますが、この大会に限り特別に許可します。
- 8 日の競技スタートから 9 日の競技終了まで売店での食料購入及び、センター内の自動販売機の利用はできません。

(7) シャワー利用について

- 1 日目及び 2 日目のレース後に、キャンプセンターのシャワーを利用できます。誘導テープに沿って進んでください。
- 入浴時間
9 月 8 日(土)16:00~19:00
9 月 9 日(日)14:00~16:00
- 2 日目のレース終了後に限り、本館棟の大浴場も利用することが出来ます。同時開催する「はじめてのナビゲーションスポーツ」の参加者も利用するため、混み合うことも予想されます。譲り合ってください。
- キャンプセンターシャワー室及び本館棟大浴場には、備えつけのボディソープとリンス in シャンプーがあります。

(8) 2 日目レース後の食事について

事前に注文したチームに限り、2 日目のゴール後の 13:00~15:00 に、本館の食堂でカレーライスを食べることが出来ます

(9) 駐車場について

- 競技中の駐車場への立ち入りはご遠慮ください。
9 月 7 日(金) オープン 18:00 クローズ 22:00(前泊者のみ)
9 月 8 日(土) オープン 6:00 クローズ 9:00
9 月 9 日(日) オープン スタート完了後 クローズ 16:30
- 駐車場内の事故等について大会主催者は責任を負いません。ご了承ください。

12. 周辺案内

- 国道 139 号線から朝霧野外活動センターへの入り口から北へ約 500m 及び南へ約 1.5km のところに、それぞれコンビニエンスストアがあります。
- 近隣には、大量の食料品を購入できるスーパーはありません。

13. その他

- レクリエーション傷害保険には加入していますが、額に限度もあります。レース中の事故については、応急処置、救急機関への連絡は行いますが、主催者側はそれ以外の責任は負いませんので、各自十分注意してください。当日は健康保険証を持参してください。
- 競技続行が不可能、閉門時間に間に合わないと判断されたチームは、係員が競技を中止させる場合があります。
- 大会会場及び競技エリア内は禁煙です。
- レース前、あるいは途中でも、天候の悪化などで主催者の判断で競技を中止することがあります。また開催時間を短縮したり、予定した競技エリアを縮小することがあります。その場合でも参加費は返金しませんので、ご了承ください。
- 朝霧野外活動センターへの事前の荷物の送付はご遠慮ください。
- 行き帰りの交通にもご注意ください。特にレース後は疲労によって集中力が低下します。お車の運転等は時間に余裕をもち、こまめに休憩を取りながら、気をつけてお帰りください。
- 個人情報の取り扱いについて

主催者は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を厳守し、主催者の個人情報保護方針に基づき個人情報を取り扱います。

競技中に撮影された写真等は今後、センターのウェブサイトやパンフレット、雑誌などに掲載されることがあることをご了承ください。

【問合せ先】 静岡県立朝霧野外活動センター

富士宮市根原1番地

TEL0544-52-0321/FAX0544-52-0320

E-mail asagiri@camping.or.jp

担当者: 保科

【SI カードとユニット】



■コントロールフラッグとユニット

コントロールの通過証明はユニット SI カードを使用します。

コントロールには、コントロールユニットと呼ばれる器具をコントロールフラッグ(白とオレンジの目印)とともに設置します。コントロールユニットはそれぞれ異なった識別番号が割り当てられています。

例えば地図のコントロール位置説明で 1(72)谷とある場合は、地図上の 1 番のコントロールは谷であり、正しくそのコントロールにたどり着いた時の識別番号は 72 番ということです。73 番や 71 番といった違う識別番号のコントロールを見つけた場合は、違うクラスやコースの識別番号を意味します。

参加者のみなさんはチームに1つ SI カードを必ず持ってスタートします。コントロールではユニットに SI カードをきちんと差し込み、光と電子音を確認してください。もし反応がない場合は、ユニットについている赤い金属ピンのあるパンチを地図の余白に押し、フィニッシュで申告してください。

■SIカード



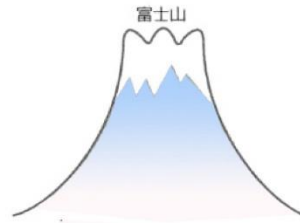
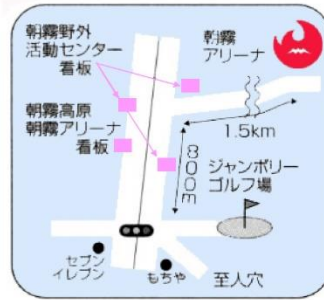
■パンチのやり方



【会場レイアウト図】



朝霧野外活動センターへの案内図



交通案内

1. 自家用車の場合

- * 新東名高速道路新富士ICから西富士道路を富士宮方面に進み、国道139号線を経由 約26Km、40分
- * 東名高速道を富士ICから西富士道路を富士宮方面に進み、国道139号線を経由 約28Km、40分

2. タクシーの場合

- * 富士宮駅から約12Km、30分
- * 白糸の滝から約10Km、15分



事前に記入の上、このページを切り取って、受付時に提出してください。

ナビゲーションスポーツ・キャンプ in 朝霧／2018 朝霧マウンテンオリエンテーリング

チ ャ ム 票

チーム名			チームNo.	
クラス	ロング ・ ショート	女子・男子・混合	○で囲んでください	
	氏名	競技中に連絡が取れる電話番号	緊急時の連絡先(自分以外)	
メンバー1				
メンバー2				

必 携 装 備 リ ス ト

に確認のチェックを入れてください。

これにより必携装備を所持しているものとみなします。

個人で必携するもの

- 水または飲み物(2L以上推奨。1日目キャンプエリアで水を補給できます)
- コンパス(方位磁石)
- 雨具
- 行動食
- ファーストエイドキット(バンドエイド、テーピングテープ、ポイズンリムーバーなど)
- 携帯電話
- ライト(12時間以上使用できること)
- 健康保険証(コピー可)
- 寝袋

チームメンバーのどちらかが必ず携帯するもの

- 熊鈴
- 食料
- テント
- 料理できるクッカー、燃料